

## 成果の説明書

(氏名) 鈴木耕太郎	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p><b>○教育上の成果に関する事項</b></p> <p>2019 年度は「初年次ゼミ」(前期 [ 2 クラス] )、「博物館概論」(前期)、「民俗学」、「地域文化論」、「演習 I」、「基礎演習」(各後期)を担当した。</p> <p>「博物館概論」「民俗学」「地域文化論」では、リアクションペーパーを記入してもらい(主に疑問点など)、次の講義冒頭でいくつかの疑問点について返答することを心掛けた(また面白い着眼点の意見や感想などもなるべく紹介した)。この取り組みについては概ね好評であり、授業評価アンケートにも「疑問が解消された」といった評価が寄せられている。また、「民俗学」や「地域文化論」では 1 回分の講義を小レポートの発表にあて、発表希望の有志を中心に発表してもらった。リアクションペーパーなどで「自分の視野が広がった」「他の受講生の考えがわかり良かった」といった意見が寄せられている。「博物館概論」では実際に博物館施設を見学した上で考察を求める小レポートを 2 回課した。2 回のレポート課題は厳しいという声が予想されたが、博物館施設に赴く機会ができたとの好意的評価を得られることができた。</p> <p>「基礎演習」では福田アジオ編『知って役立つ民俗学』(ミネルヴァ書房)をテキストに輪読を行い、民俗学の基礎的な知識と共に、ゼミ内における議論のやり方(着眼点や意見の出し方)などを身につけてもらった。「演習 I」では、名古屋でのゼミ合宿などを通じて、具体的に卒論につながるテーマを各自見つけてもらい、後期には研究計画書を提出させ、それをゼミ内で討議し、より具体的かつ幅の広い研究となるように指導することができた。</p> <p><b>○職務上の成果に関する事項</b></p> <p><b>[学外業務]</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・立命館大学日本文学会 評議員</li></ul> <p><b>[社会貢献活動]</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本学オープンキャンパス(2019 年 8 月 4 日)模擬授業講師(授業タイトル「昔話・都市伝説 × 地域づくり!? ——民俗学をどう活かすか」)</li><li>・2019 年度教員免許更新講習講師(講習タイトル「地域文化と民俗」)</li><li>・NPO 法人ひつじ大学地域文化講演会 10 月講師(演題「牛頭天王信仰の謎を追う ——上州における天王信仰とは——」2019 年 10 月 19 日・高崎市中央公民館)</li></ul> <p><b>○研究上の成果に関する事項</b></p> <p><b>【学術書・単著】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・鈴木耕太郎『牛頭天王信仰の中世』(法藏館、2019 年 7 月)</li></ul> <p><b>【学術書・分担執筆】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・鈴木耕太郎「中世 『徒然草』 —— 「都人」兼好の足跡をたどって」須藤圭 責任編集/京都と文学研究会(池原陽斉・恵阪友妃子・須藤圭・鈴木耕太郎・藤川玲満・村田裕和・田中裕也・池田啓悟・熊谷昭宏・禧美智章) 編『ものがたりたちの京都 —— 京都文学入門 ——』(武蔵野書院、2019 年 10 月)</li></ul>	

### 【研究会発表（輪読など）】

・鈴木耕太郎『長楽寺永禄日記』正月十六日条輪読」第 14 回長楽寺永禄日記勉強会、2019 年 10 月 10 日、群馬県立女子大学

・鈴木耕太郎『直談因縁集』巻 6 第 20 話輪読」第 462 回伝承文学研究会東京例会、2019 年 12 月 14 日、国立オリンピック記念青少年センター

### 【研究会・学会発表（研究発表）】

・鈴木耕太郎「地方における牛頭天王信仰の受容と展開の一考察——『須佐神社縁起』の読解を通して——」2019 年度蓮花寺佛教研究所 2 月例会、2020 年 2 月 17 日、蓮花寺佛教研究所

・鈴木耕太郎「陰陽道の中の牛頭天王」第 9 回陰陽道史研究会、大東文化大学大東文化会館、2020 年 3 月 1 日 ※同会は「研究会」だが実質は学会的役割を負っている

### 【その他】

・須藤圭 責任編集／京都と文学研究会（池原陽斉・恵阪友妃子・須藤圭・鈴木耕太郎・藤川玲満・村田裕和・田中裕也・池田啓悟・熊谷昭宏・禧美智章）編『ものがたりたちの京都——京都文学入門——』（武蔵野書院、2019 年 10 月）における「読書案内」で『神道集』・『牛頭天王縁起』・西口克己『祇園祭』・おかざき真里『阿・吽』を執筆。

・科研費基盤研究 C「神楽の中世的展開とその変容」（研究代表者：斎藤英喜 佛教大学教授）に研究協力者として参加。

・鈴木耕太郎『牛頭天王信仰の中世』・斎藤英喜『増補改訂 いざなぎ流祭文と儀礼』刊行記念トークショー「祇園の牛頭天王は、神か仏か」（丸善京都本店地下 2 階特設会場・2019 年 11 月 30 日）参加（招待）。

※YouTube 法藏館チャンネルで公開

### 2 その他の事項

・現時点で単著論文 1 本（寄稿）、研究ノート 1 本（学術書掲載、招待）を提出しており、2020 年度の早い段階で発表・刊行される見込みである。

・上記拙著に関しては、2019 年 11 月 1 日『中外日報』および『月刊ムー』10 月号（学研、2019 年 9 月）にブックレビューが紹介された。また『日本文学』4 月（2020 年 4 月）に斎藤英喜氏による書評が掲載される予定。

### 3 次年度以降の計画・抱負

#### 【教育上の抱負】

演習 II で自身初めての卒論指導となる。学生たちの主体性を伸ばしつつ、適切な指導ができるようこれまで以上に心掛けたい。また講義では、今まで以上に双方向性を意識したい。

#### 【研究上の抱負・課題】

2019 年度は、単著刊行および分担執筆に集中したため、論考の執筆依頼を 2 本断り、1 本は研究ノートとして発表することとなった。仕方ない反面、悔いも残ったため、今年度は前期から研究計画をしっかりと立て、論考・学会発表を行っていきたい。